

精神科救急病院における未治療統合失調症 患者の医療保護入院までの期間について

福田真道¹⁾ 篠原義政¹⁾ 黒川達也^{1) 2)}
網野賀一郎^{1) 2)} 高橋寿直¹⁾ 木内健二郎¹⁾
松岡健¹⁾ 片山成仁^{1) 2)}

1)成仁病院 2)東京医科大学 精神医学教室

はじめに

- 統合失調症の早期発見、早期治療の必要性が1990年代より欧米で注目され、2000年代に入り日本でもその重要性が指摘されている
- 一方未治療のまま長期間放置されている患者がいるのも実情である
- フリーアクセス型精神科救急医療を行っている成仁病院で医療保護入院となった未治療統合失調症患者へ注目した

統合失調症未治療期間(DUP)

- 症状の顕在化から抗精神病薬による治療開始や入院治療の開始までの期間
- 平均は1年から2年と言われている
- 精神科病院ではDUP中央値が10.5カ月との報告もある
- 欧米ではDUP中央値が3.5カ月といわれている

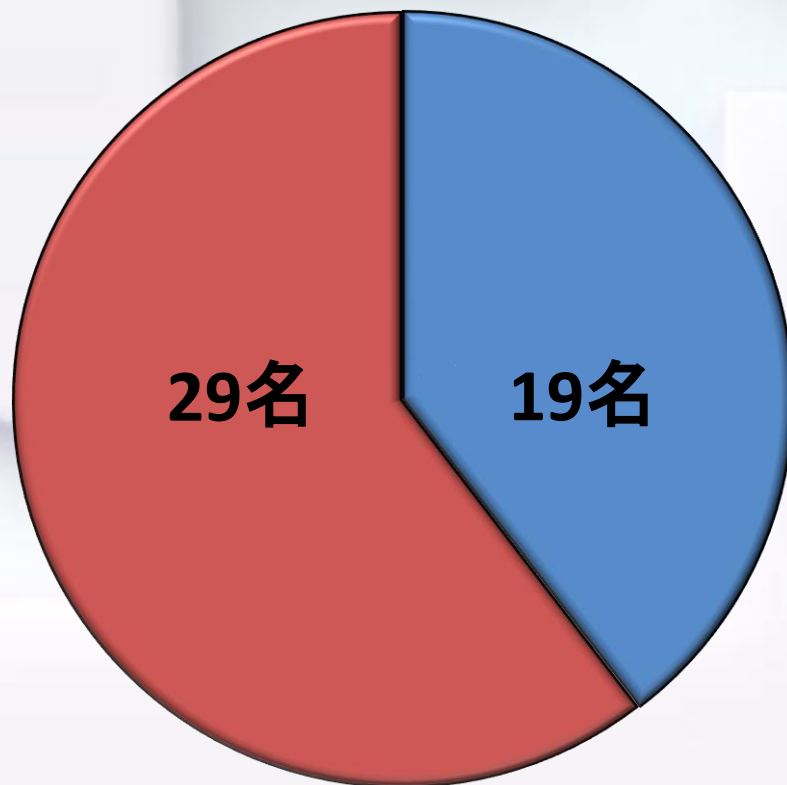
成仁病院の特徴

- 東京都足立区に位置している
- 病床数は114床（保護室9床）
- 医師11名（指定医7名）
- 東京都の2次救急の当番に入っている
- 措置入院は対応していない
- 2次救急当番以外の日も24時間、救急隊や警察などの依頼を対応している

方法

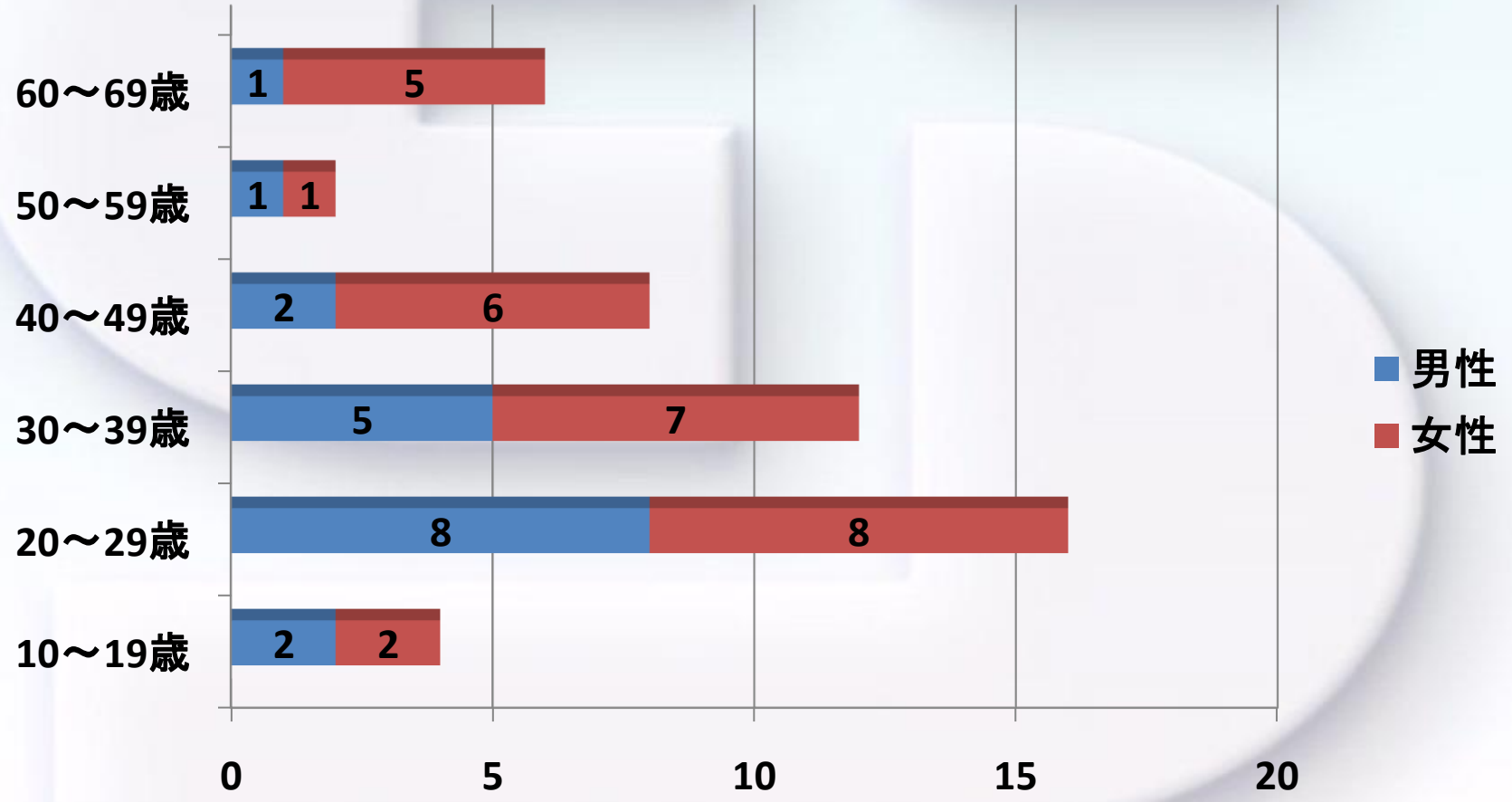
- 2009年1月1日から2009年12月31日の期間に成仁病院へ医療保護入院となった未治療統合失調症患者の年齢、性別、発症から受診までの期間を比較検討した
- 症例は完全な未治療で初発統合失調症でも他院で一回でも処方された患者は除外した

男女比

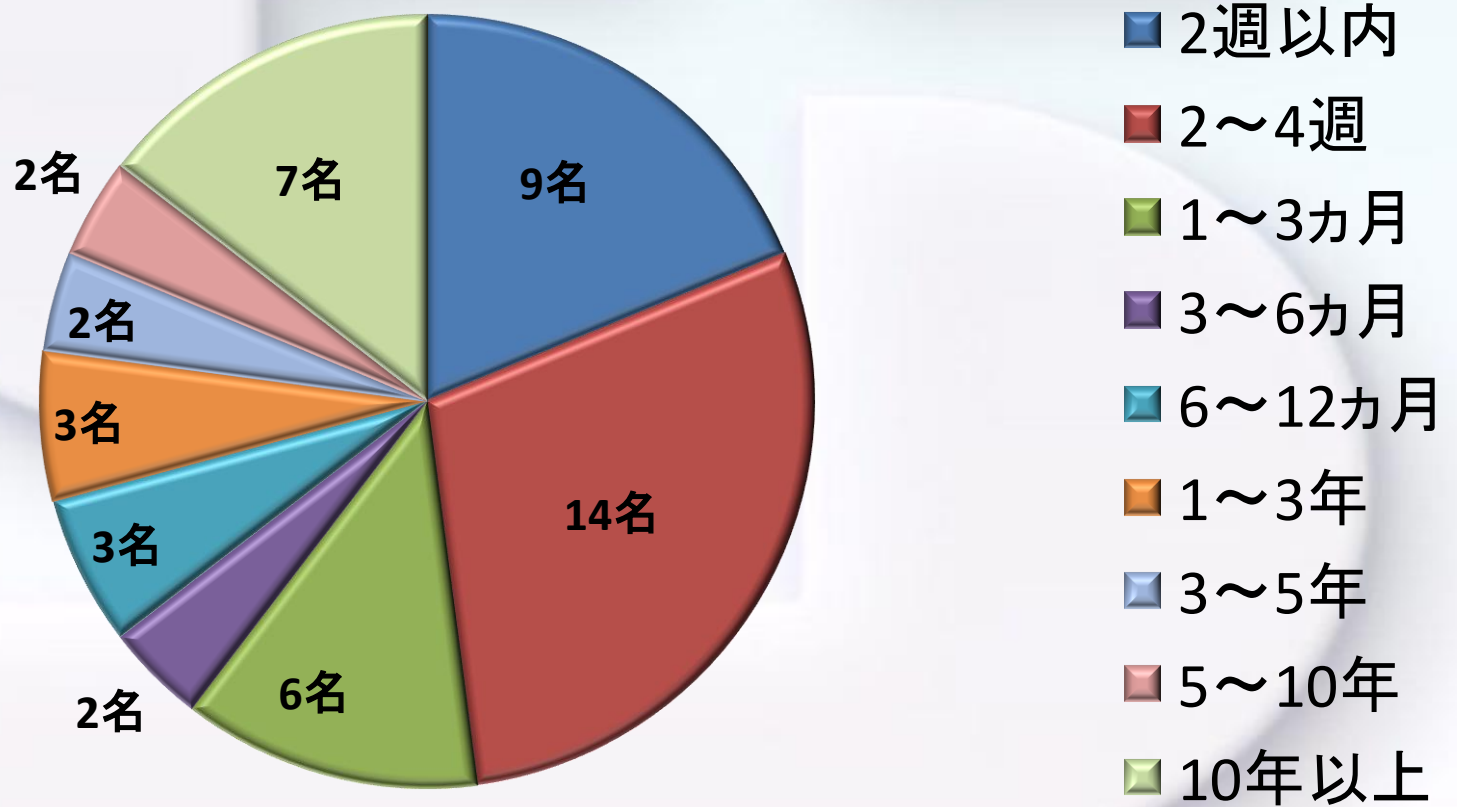


■ 男性
■ 女性

年齢と性別



受診までの期間



まとめ

	患者数	平均年齢	受診までの 平均期間	受診までの期間 の中央値
男性	19名	32.1±12.2歳	32.1±12.2ヵ月	3.0ヵ月
女性	29名	38.7±14.8歳	36.8±78.3ヵ月	1.0ヵ月
計	48名	36.1±14.1歳	36.6±69.2ヵ月	2.0ヵ月

結果

- 統合失調症患者は一般に若年男性に多いといわれているが成仁病院へ医療保護入院となった患者は女性が多かった
- 入院患者の平均年齢は36歳だった
- 受診までの期間の中央値は2カ月だった
- 推定発症から入院までの期間が10年以上であった患者が7名いた

考察

- 成仁病院へ医療保護入院となった患者の女性の割合が多かった要因は当院がフリーアクセス型救急によるソフト救急を中心におこなっているためと考えられた
- フリーアクセス型救急をおこなうことにより患者を外来予約でまたせることが減り、早期治療介入がおこなえたと考えられた
- また10年以上の未治療期間のある患者が7名おり、さらなる早期治療介入の必要性があると考えられた

今後の課題

- 成仁病院へ医療保護入院になった患者のみの未治療期間を調査したために早期介入ができていたと考えられた
- 症状が軽症であれば入院までいならず、治療介入までもう少し時間がかかると考えられた
- 今後入院患者だけではなく外来患者も含め調査していく必要があると考えられた